

富士ゼロックスにおける TRIZ推進活動と代表的適用事例

('01/09/13 第2回ユーザーグループミーティング発表資料)

'01年 9月 13日

富士ゼロックス(株) DPC 研究開発センター
粕谷 茂
伊本 善弥

THE DOCUMENT COMPANY
FUJI XEROX





目次

1. 富士ゼロックス(株)会社概要と主な取り扱い商品
 2. 当社におけるいままでの活動経緯
 3. 当社でのTRIZ研究会設立の目的、運営方法・体制
 4. 主な適用事例とアウトプット
 5. 各種手法と今回発表事例の位置づけ
 6. 2001年度 TRIZ推進活動の体系的取り組み
 7. 主な課題と対応
- 技術開発事例A : 稀ガス蛍光ランプの黒化対策
- 技術開発事例B : 光 - 電気変換用フレキシブル基板の実装
- コストダウン事例C : 原価低減メニューの抽出事例
- マネジメント事例D : キャリアパス設計法

1. 富士ゼロックス(株)会社概要と主な取り扱い商品

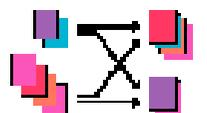
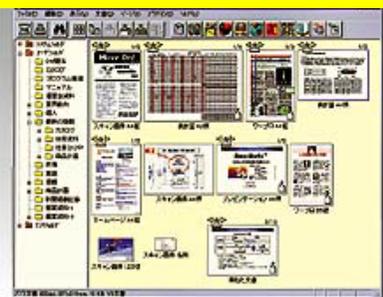
設立 : 1962(昭和37)年 2月20日
資本金 : 200億円
売上高 : 9,056億円('00年度)
本社 : 東京都港区赤坂2-17-22
従業員数 : 14,837名('00年12月31日現在)



DocuColor1250CP



DocuCentre450 / 550



DocuWorks

オフィス機器

- 複写機、複合機、
- カラープリントシステム
- レーザープリンター
- ファクシミリ
- パブリッシャーシステム
- ネットワーク機器
- エンジニアリングシステム
- ソフトウェア関連
- コピー用紙他関連商品

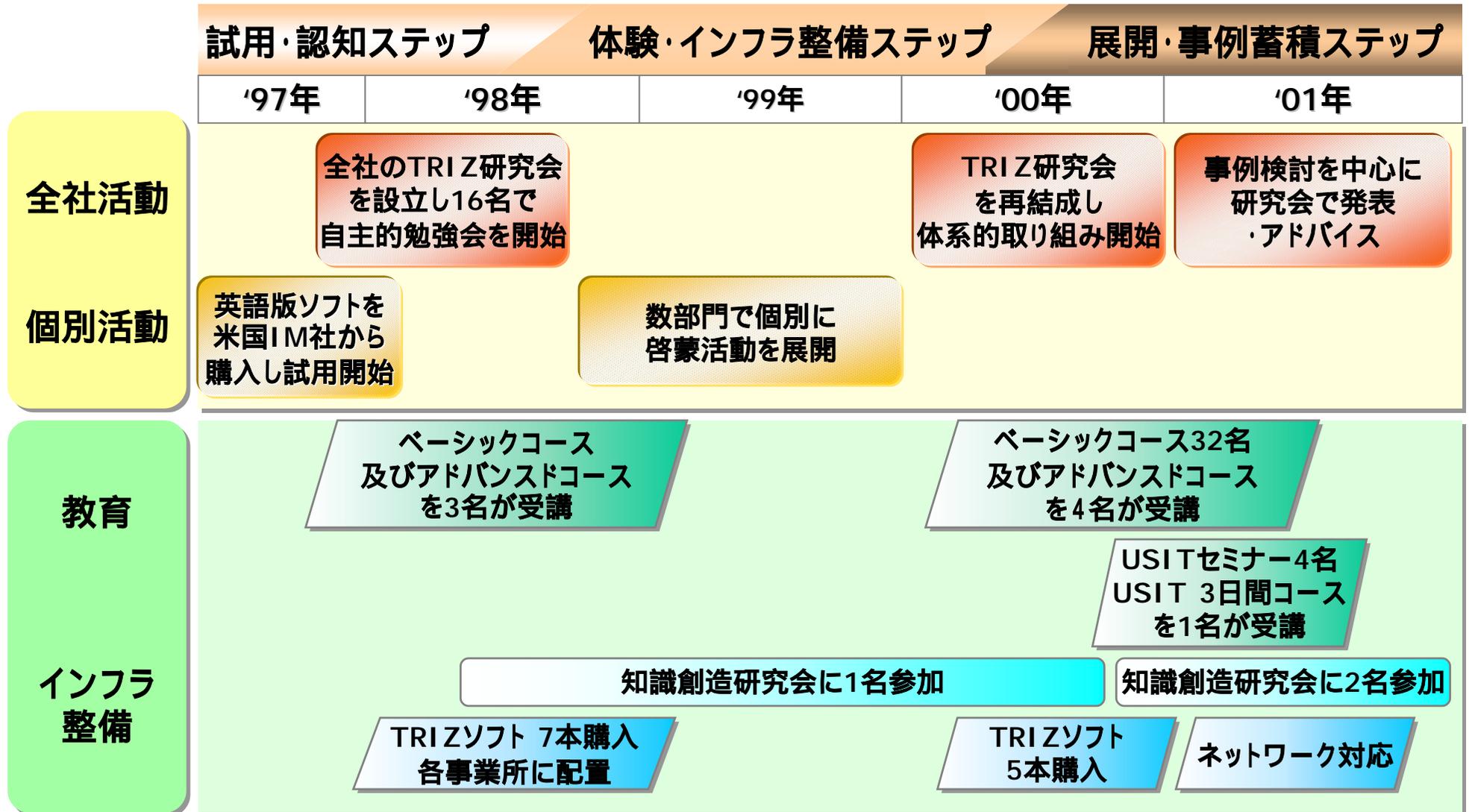


DocuPrint 2220



Color Docutech 60

2. 当社におけるいままでの活動経緯





3. 当社でのTRIZ研究会設立の目的、運営方法・体制

< 研究会設立の目的 >

- TRIZ を技術のシステム選択、課題解決等におけるプロセス改革ツールの一つと位置づけ、TRIZ 研究会を設置し、啓蒙・教育、事例研究等を通じて展開活用を図る。

< 研究会運営方法・体制 >

- 3名のアドバイザーを座長とし、約1回/2ヶ月レベルでTRIZ研究会を開催
- 全社より約20名の常任メンバーを募集し、ベーシックコースの研修受講を促進し、実践活動を通じ各部門へ展開
- 検討事例は、新規テーマまたは特許等の後付けテーマを対象
- 一般の参加希望者は任意の開催日に参加可能

4. 主な適用事例とアウトプット

本日発表以外の主な適用事例

- 電子ペーパーで他の機能性材料を挿入付加することを発想
- 電子ペーパーへの書きこみ技術調査に使用し、32種類の原理を創出
- 複写機センサーを位置合わせに活用し組み立て方法を改良
- 低コストプリンターで低コスト化の為の施策として部分的なアイデア抽出
- プリンターエンジンの高速化アイデアを抽出
- 複写機のトナー補給機構の低コスト化

アウトプット

特許出願

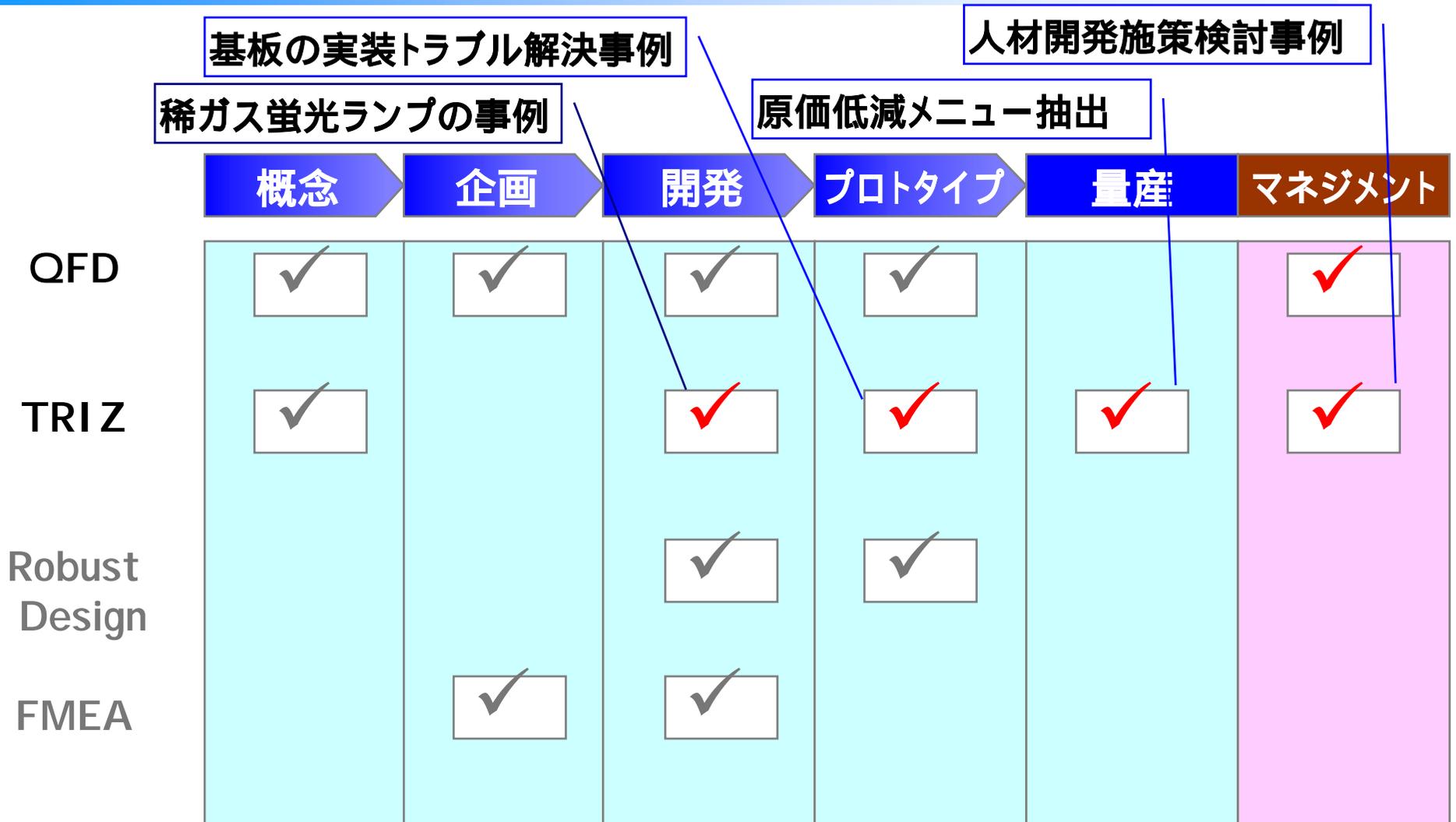
特許出願

コストダウン

コストダウン

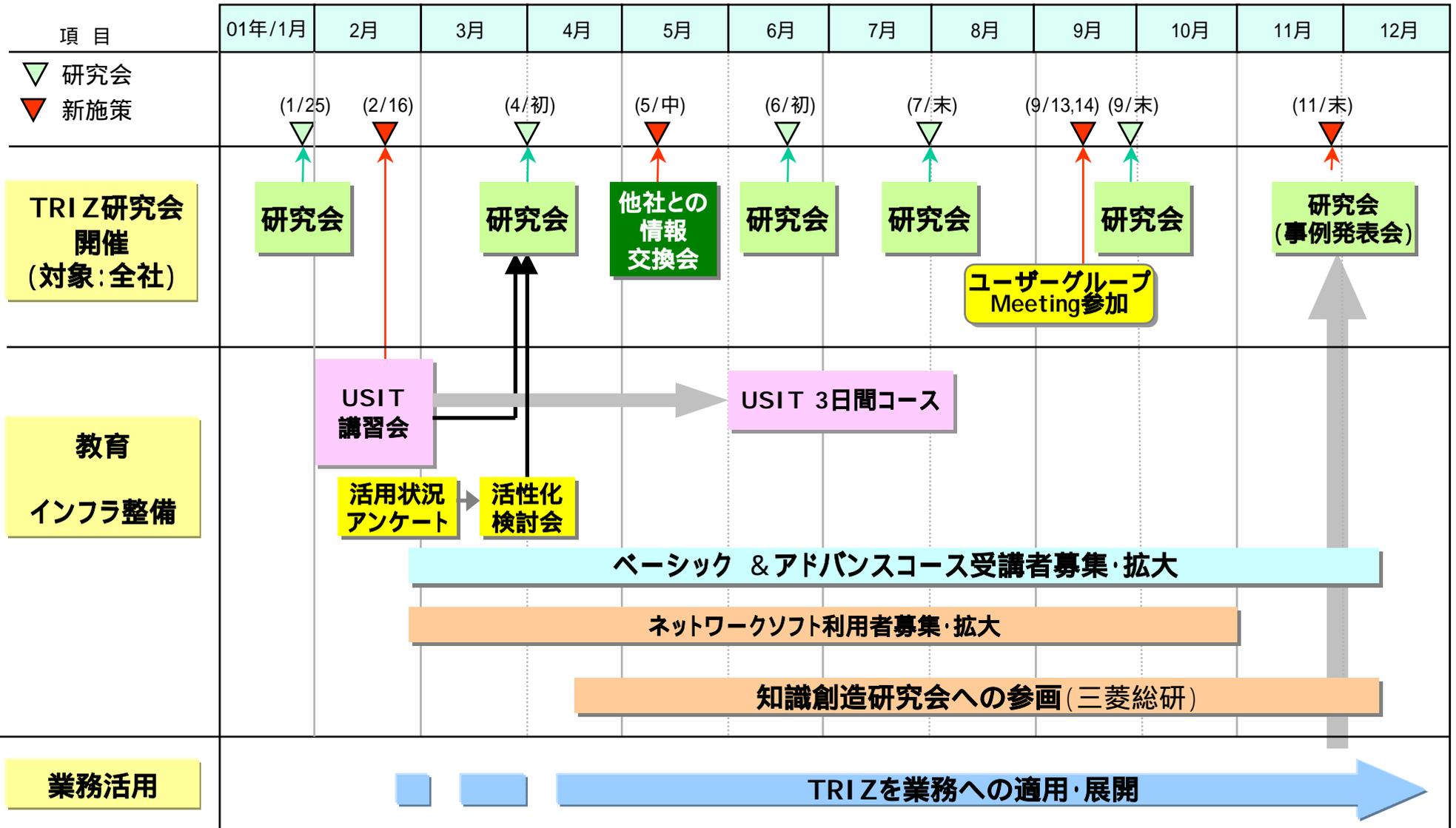
特許出願
コストダウン

5. 各種手法と今回発表事例の位置づけ



出典：京大山品教授のチャートをベースに付加

6. 2001年度 TRIZ 推進活動の体系的取り組み





7. 当社の主な課題と対応

< 特許等のアウトプット >

- アウトプットにつながる事例は、まだ少数である
研究会を課題解決の場として活用

< TRIZの現場レベルでの活用 >

- 技術者が日常的に活用できるようにしたい
USITあるいは他の創造性開発手法との併用で現場に浸透

< TRIZの認知度 >

- 自律的活動を標榜しているため全社としての認知度がまだ低い
魅力ある事例をデータベース化
ベーシックコース受講者の拡大